

自由民主党
託して安心の即戦力！市議 和田直也 の 市政報告。

BLUE - SKY REPORT - - -

Vol.62

JANUARY 2020 - 新春号
きちんと市政＆議会報告 (062号)



市会議員って毎日なにしてるの？
議会で何が話し合われているの？
どんな政策が進められているの？

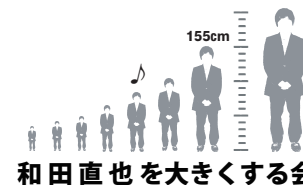


毎日の活動きちんと報告。左記 QR コード CHECK !

編集・発行

岐阜市議会議員 和田直也 事務所

〒500-8879 岐阜市徹明通 6-1 善福寺ビル1F
TEL+FAX: 058-251-2638 E-mail: office@wada-naoya.jp



きちんと 動画 de 市政&議会報告

毎月開催 ＊
みんなの知恵を
集める cafe ♪

1月31日 (金曜 ＊ FRI) 19:00-20:00
テーマ：SDGs と岐阜市政
2月23日 (日曜 ＊ SUN) 15:00-16:00
テーマ：下半期＊市政ダイジェスト

「みんなの知恵を集める cafe ♪」は、岐阜市の都市問題について毎月1つずつテーマを取り上げ、そのテーマに関する現在の岐阜市の取り組み、和田直也の政策を短く解説、のちに参加者の皆さんとのディスカッションを通じて課題解決策を見出し、次の議会質問につなげています。どなた様も気軽にお出かけください♪

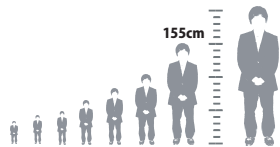


「みんなの森 GIFU メディアコスモス」でお待ちしています。どなたでも気軽にお出かけください



昭和 55 (1980) 年生まれ。岐阜幼稚園、木之本小 (現 徹明さくら小)、本荘中、米国 Saratoga High School 交換派遣、県岐阜国際コミ科、立命館大学法学部を経て立命館大学大学院法学研究科 前期博士課程を修了 (法学修士)。2006 年岐阜市に戻り (株) HA テレコム並びに日本再生研究会 (梶原拓元岐阜県知事) 事務所で勤務、2007 (平成 19) 年の統一地方選で初当選 (26 歳)、現在 4 期目。このまちの未来の声に応えるため岐阜市政に捧げて活動中。

党派：自由民主党 政治団体：クラブ青空
所属：文教委員会 委員 岐阜市中央卸売市場開設運営協議会 委員



〒500-8879 岐阜市徹明通 6-1-1 TEL+FAX: 058-251-2638
岐阜市議 和田直也事務所 * 和田直也を大きくする会 + クラブ青空



Website



Twitter



Facebook



Google+



YouTube



LINE



Vol.62

JANUARY 2020 - 新春号

きちんと市政 & 議会報告

毎月開催 *
みんなの知恵を
集める cafe ♪

1月31日 (金曜 * FRI) 19:00-20:00
テーマ: SDGs と岐阜市政
2月23日 (日曜 * SUN) 15:00-16:00
テーマ: 下半期 * 市政ダイジェスト



「みんなの森 GIFU メディアコスモス」でお待ちしています。どなたでも気軽にお出かけください♪



都市インフラの底を支える

国土技術政策総合研究所を訪問、所長は岐阜県出身。都市インフラ安全向上に日夜尽力しています

都 市インフラ安全確保に尽力する国土技術政策総合研究所を訪問しました。河川氾濫時の堤防決壊のメカニズムやガードレールの強度実験、実際に崩れた橋梁の一部を収集しその技術的課題を整理するなど、様々な都市インフラの安全確保を技術面から支える研究に取り組んでいます。老朽化著しく岐阜市の市政課題となっています。上下水道管の敷設替えについては、狭い空間でのドローン調査により漏水箇所を探し当てる技術開発も進んでいるとのこと、新たな情報収集の機会となりました。来年度からは岐阜市議会に「公共施設マネジメント対策特別委員会」が発足予定です。次の機会には公共施設統廃合に関する政策提起に繋がりたいと思います。

◆公共施設マネジメント特別委



Neo work - GIFU オープン

リモートオフィス・シェアオフィス・コワーキングスペース一体型、3年間実証事業として開始されました

市 議会今年度予算で議決済みの岐阜市リモートオフィス「Neo work - GIFU」が12月20日、岐阜駅東地区再開発ビル「岐阜イーストライジング24」の2階にオープン。ワークライフバランスを考えた新しい働き方の提案として、3年間の実証実験的な取り組みとして事業開始です。リモートオフィス・個室10室、シェアオフィス・固定席12席、コワーキングスペース・自由席40席を完備、JR岐阜駅と名鉄岐阜駅共に目の前との好立地とあり、新たなビジネスの可能性に注目しています。「情報社会は掛け算の時代である」とは故梶原拓前岐阜県知事が力説していました。まさにオフィスの形態もこの時代に適応した姿へと変貌しつつあるように思います。

◆岐阜駅前にリモートオフィス



岐阜市の都心に「広場」を

南池袋公園を筆頭に多様な世代・人々が集う「広場」を都心に求める動きが加速新年度予算で一歩前進へ！

論 争を重ねて早10年以上が経過している旧長崎屋跡地利用をはじめ、金公園の本格的なリノベーション構想、高島屋南地区再開発や周辺のマンション建設に加え、岐阜駅周辺問屋町界隈での大型再開発計画など、長年蓄積してきた中心市街地での再開発が、少しずつ事業化の時期を迎えています。いづれも人口減少を意識した都市の集約化やコンパクトシティを推進するための具体策です。と同時に、パネマコなどで実現した東京都豊島区の南池袋公園を代表例に、都市の中核に「広場」を位置付ける動きが加速しています。岐阜市でも例外なくこのニーズが加速しています。情報が集まる空間こそ都市の源です。来年度予算でそのカタチが提示されます。

◆「柳ヶ瀬に広場を」をカタチに

都市研究最前線！ MaaS

MaaS = Mobility as a Service (ネットを活用し全ての交通手段を1つのサービスとして繋ぐ新たな移動の概念) について国を挙げて研究が進められていますが岐阜市内の企業でも新たなビジネスモデルづくりに着手されています。繋ぐというテーマは、国際的にも日本のお得意分野とされているため、地方都市に広がる駐車場問題や公共交通の新たな可能性に一石を投じる分野として注目しています。そんな中、トランジットモール 2019 * Yanagase Park LINE が金町(金華橋通)で実施されました。柳ヶ瀬サンデービルディングマーケットとの連動性高く、多世代の賑わいとなっています。岐阜高島屋前にはシルバー世代と身障者向けの新たなモビリティ「scoo」の展示、歩道専用であるため運転免許が必要なく、登録や車検の必要もない新たな提案です。岐阜市産ベビーカー「Curio」と同じ岐阜市城東通に本社を置くメーカーです。高齢者の免許返納時には、こうしたモビリティ購入補助の検討はあっても良いのではと思います。デザイン性の高い都心トランジットモールと共に引き続き重点政策として取り組んでいきます。



MaaS = Mobility as a Service
都市研究を加速！
岐阜市議 * 和田直也。